

笹川保健財団 地域啓発活動助成

2020年 2月 14日

公益財団法人 笹川保健財団
会長 喜多悦子 殿

2019年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

訪問看護認定看護師による人生会議普及啓発 in 鹿児島

活動団体名： ローズ訪問看護ステーション

活動者（助成申請者）名： 川崎 幸栄子

I. 活動目的

2018年11月30日に厚生労働省にてアドバースケアプランニングの愛称が「人生会議」に決定した。これまで、アドバンス・ケア・プランニングに関する研修は病院職員に向けて行われていることも多く訪問看護師や多職種で事例を検討した研修は少ない。

今後も高齢化はさらに進むことが予測され、様々な慢性疾患を持ちながら生活をしている方も増えることになる。我が国を支えてきた高齢者が、老いや病状の進行により要介護状態になった時も「住みなれた地域で、尊厳を保ちながら、安心して暮らすことができる」ことを叶えつつ、質の高い医療や介護が地域で受けられるためには、どのような医療やケアを受けたいのか一人ひとりが考え、医療者と家族や大切な人と共に話し合いを続けていくことが重要となる。しかし、どのように話し合いを行い、その話し合うプロセスを刻み続けていくかについて困惑している現状がある。このようなことから、「人生会議」に関する正しい知識を学び、地域で暮らす人とともに考えていくことができる医療・介護者を増やすことを目的とする。

II. 活動内容・実施経過

講師と研修会の内容をWEB会議しながら準備を進めていった。対象者は、人生会議の知識を広める目的があり、一般の方も含め多職種とした。子育て世代の方も参加しやすいように託児を準備した。広報は、鹿児島市内、日置市、いちき串木野市を中心に医療関係者（病院連携室、訪問看護ステーション）、介護関係者（介護支援事業所、地域包括支援センター）、保健所、看護協会HP掲載、スーパーの掲示板等へチラシ配布を実施した。

時期	活 動 内 容
4月	第1回講師依頼、会場決定、チラシ・申込書作成 ファシリテーター選定・依頼 各関係機関への案内、広報、参加者募集 プログラム内容、GW詳細打ち合わせ（Web）
5月	5月25日研修会開催 「人生会議普及啓発 in 鹿児島～みんなでやろう！人生会議～」 第1回 もしバナカードを用いた人生会議～地域で安心して暮らせるために～ タイムスケジュール最終決定、シナリオ作成 参加者名簿作成、垂れ幕作成、資料作成、アンケート作成、反省会
6月	アンケート集計、お礼状作成、発送
8月	第2回講師依頼、会場決定、チラシ・申込書作成 ファシリテーター選定依頼
9月	各関係機関への案内、広報、参加者募集 プログラム内容、GW詳細打ち合わせ（Web） 文具準備品のリスト作成、準備

10月	タイムスケジュール最終決定、シナリオ作成 参加者名簿作成、垂れ幕作成 資料作成、アンケート作成
11月	11月2日研修会開催 「人生会議普及啓発 in 鹿児島～みんなでやろう！人生会議～」 第2回 事例で考える人生会議 反省会、アンケート集計 お礼状作成、発送

Ⅲ. 活動の成果

【第1回研修会】

「人生会議普及啓発 in 鹿児島～みんなでやろう！人生会議～」

第1回 もしバナカードを用いた人生会議～地域で安心して暮らせるために～

日時：令和1年5月25日（土） 13：30～16：30

場所：鹿児島県自治会館 402号

参加者：65名

専門職 59名（介護支援専門員、病院看護師、訪問看護師、介護福祉士、教員、
作業療法士、理学療法士、医師、社会福祉士、MSW、保健師）
一般 6名（住職、自立支援員、美容師等）

講演

1) 「人生会議とは」 横浜掖済会病院 緩和ケア認定看護師 平野和恵氏

もしもの時について、人生会議について国の施策からわかりやすく説明され、人生会議の進め方について具体的に話された。また、最後には一緒に悩む専門家になりましようと言われた。

2) 「縁起でもない話をもっと身近に」 もしバナカード™ グループワーク

学校法人鉄蕉館亀田医療大学看護学部看護学科講師

リンパ浮腫セラピスト・緩和ケア認定看護師

亀田総合病院緩和ケアチーム非常勤看護師 千葉恵子 氏

人生最期の過ごし方を前もって考えること、「どこで」「誰と」「どんなふうに」と具体的な例を挙げ説明される。もしもの時の備えとして、自分の「大事なもの」を考えるきっかけの一つとしてもしバナゲームを紹介され、4人グループでもしバナゲームの体験をする。初めての人が多かったが、ファシリテーターや講師の説明にてスムーズにワークがすすみ、それぞれの思いや価値観を時間が足りないくらいに夢中で話すグループや楽しく思いを聴きあうグループも見られた。それぞれに思いや価値観がありその理由が違うこと、また、新たに自分の思いに気づいたり、言葉にすることの大事さを感じたりと有意義なワークと

なった。また、多職種、一般の方、とくに住職の方の意見など様々な立場の意見が聞けたことも価値観の違いを理解することにつながったのではないかと考える。

アンケート結果 (回収率 95%)

◎「人生会議とは」の講演はいかがでしたか。【大変よい 75% よい 25%】

理由：

- ・わかりやすかった
- ・たくさんの学びがあった
- ・自分が信頼できる人にもしもの話をたくさんしたいと思いました
- ・自由度が高いところがよい
- ・ACPの講話を他で受けていましたが、わかりやすく、多くを学ぶことができました
- ・両親、夫婦で子どもとも時々（時事問題で話題になったきっかけで）これからのことを話すことがあります。大切なことを確認させてもらいました。これからも話していきます
- ・死について今まで考えたことがなかったので、死について考えることの大切さを学んだ
- ・元気な時に考えておかないといけないことだと思った
- ・「もしも1億円があったら」「90歳になったら」は考えやすかったが、「自分が若年性認知症になったら」はなかなか言葉が出にくかったです。人生会議の大切さはわかっているがまだまだ普及が進んでいないかと思う
- ・最期を考える機会になりました
- ・どのように生きたいか、がキーワード
- ・話し合いを継続することの大切さを再認識できた
- ・いろいろ話してもらえ、聞かせてもらえ、利用者様に一番良いものであるよう、一生をおしえてもらえるよう、考えることが大事だと思っています。
- ・最期のビデオがとても感動てきでした
- ・「若年性認知症」になったら…に備えて日ごろから書いておくこと、話し合っておくことが大事だと思いました。
- ・見聞が広がった
- ・ACPのことを理解することができた。また、「人生会議」が今は国民への啓蒙活動中であることを知った
- ・講話は楽しかったが、少し早口でわかりずらいところがありました
- ・誰でも参加でき、わかりやすかった
- ・ACPの研修にはいっていたが、「人生会議」の方がしっくりきました。
- ・もしもの時にはなかなか話をするタイミングがつかめません。患者さんやその家族とは話しているけど、自分の家族とははなしていないと感じた。
- ・とても大切なことを学べてとてもよかった。まだまだ、自分の理解がおいつかないが

- ・自分の死について考えるよい機会になると思う。そのことが生き方にもつながる
- ・最近、看取りをさせていただいた方がいて、その方との出会いは関わりがチャプレンという職種と似た対応だったのでと感じ、今後も深めたいと思いました。
- ・わかりやすい言葉で、聞きやすい声で受講しやすかったです
- ・最期の47歳の方のビデオはうるっときました
- ・ACPを普及させていく仕事をしているものの、まだ自分が十分にわかっていないので、とてもわかりやすい講演を聞かせていただき本当によかったです
- ・知っていましたが、学びを深められました。
- ・考え方をりかいできました
- ・「人生会議」とは何かということがよくわかりました
- ・とても興味深く聞かせていただきました。私自身が伝える立場なのでとても勉強になりました。
- ・いろいろな角度からこのテーマで話を聞く機会がありますが、その中でもとても分かりやすかったです
- ・話し合うことの大切さに改めて気づいた。

◎「縁起でもない話をもっと身近に・もしバナカード™ グループワーク」の講演はいかがでしたか。【大変よい 87% よい 13%】

理由：

- ・今までの経験で選ぶカードや考えが違い考えさせられました
- ・もしものことを考えたことがなかったのですが、カードによって自分が思っていることを知ることができた気がします
- ・信頼できる
- ・初めてもしバナカードゲームをしました。自分が大切にしていることを知る機会となりました。ほかの方の話を聞くことでどんな風に今後考えていきたいか、仕事の中に取り入れていくか、考えていきたいと思いました。
- ・人生会議のタイミングや導入の仕方に悩んでいたため、まずは夫と両親とカードを使ってやってみたいと思います。そして職場で導入したいです。
- ・いろいろな意見がありましたし、もしバナカードをみながらすると、今の自分のことも今の現状など（気持ち）も感じることができました
- ・つい、言葉の意味を考えてしまい、立場を設定してしまい、迷ってしまいました。でもざっくりとした見解を言葉で整理できた気がします。
- ・自分が大切にしていることが理解できたと同時に、それぞれの大事にしていることが違うので価値観を大事にすることも感じた
- ・カードがあることにより思いを話しやすい
- ・自分の思いももしバナカードゲームをして、ほかの人の意見を聞くうちに変化していると気づいた
- ・グループ4名のそれぞれの思いをしれてよい機会であった

- ・もしバナカードゲームで具体的に言語化できることや、自分の考えを発信することで今の自分の考えを確認できた
 - ・先生の話された「私たちは大切な選択をさせるときに、何を選択して何を捨てるかをご家族に経験させているのだ」という言葉がとても心に響きました
 - ・もしバナカードはとてもいい経験になりました。
 - ・実際にカードを使い、自分の価値観、ほかの方の価値観がわかり、それに共感もできました。
 - ・地域や家族の中で実施し、お互いの価値観を知るとはとても大切だと思いました。
 - ・お互い死に向けての意思決定ができていければと思いました
 - ・自分の価値観を再認識できました
 - ・もしバナゲームで各個人の価値観でそれぞれ違って、それでよいのだと思いました。その時の感情などでも変わってくるとも思いました。
 - ・おもしろかったです
 - ・いろいろな意見・思い・価値観を知ること、考えることができました
 - ・今後の人生に役立ちそうです
 - ・市民の間でカードをツールにして人生会議を開いていけるようになると感じました
 - ・丁寧に話してくださり、よく理解できました。自分のためにも親のためにも避けて通ってはいけないところを勉強できてよかったです。ほかの方の話も聞けてとてもよかったです。
 - ・相手が何を考えているのか、話してみないとわからない。
 - ・カードの中から自分の性格までわかるようでした
 - ・初めてやりました。ルールが少しわかりづらいところもあったが、ほかの方の思いや価値観を聴けて良かった
 - ・おもしろいと思います。その人が置かれている状況（年齢・子供の年齢・役割等々）によって変わるし、一人の人の中でも5年10年…と時間の経過とともにかわっていくんだと思いました。
 - ・以前から興味を持ち、気になっていたようだったので、大変楽しかったです。
 - ・現場でも家族でも始めてみようかと思えます
 - ・初めて使ってみました。とても考えさせられました。いろいろな考えを共感し、自分自身でこれだけ迷うのだから実際の利用者と真摯にむきあって、そのつど揺れ動く気持ちに寄り添いたいと思いました。
 - ・もしバナカードを持ってはいたが、実際にどのように使うのかわからずにいましたが、使えそうです。
 - ・自分を見つめるいい機会ですね
 - ・人によって考え方が違うので、楽しくディスカッションできました
 - ・院内の研修でももしバナカードを早く使えるように実現したいです。
- ◎本日の講演会で印象に残ったこと、ご感想をお書き下さい。
- ・よい研修を受けられてよかったです

- ・貴重な講演、大変勉強になりました。ありがとうございました
- ・どのように生きていきたいですか？という言葉
- ・きちんと考えないといけないと思いました。
- ・たまには「縁起でもない話」をする機会を作っていけないといけないなと感じました
- ・本当に多職種の方の参加でした。偏らず意見が聞けたり、お顔をしたり祈りの多い会でした。
- ・もしバナゲームでそれぞれの価値観をみることができました。
- ・年齢や病気の重さ、環境によってまた一度もしくは数回で考え方が変わっていくので、定期的な確認が必要と思いました。
- ・一般の方の意見を聴くことができ、また、違う考え方を知ることができた
- ・自分の考えをきちんと伝えておくことが大切。家族として決定しないとけない立場になるのでそこも認識しておこうと思った
- ・カードでの文言で考えを深める機会となった
- ・ファシリテーターの方が複数おられ、迷いなく、もしバナカードを体験できました。
- ・自分の自覚していない価値観に驚くとともに、今の無自覚な根本もわかりました。
- ・もしバナカードの内容が思っていたより深いことを実感しました
- ・楽しい講演会でした
- ・もしバナカード、価値観は個々で違い、それを尊重することがとても大切だと思いました
- ・価値観を知るきっかけとなりました。
- ・人生会議の考え方をあらためて知ることができました
- ・どのように「死」を迎えるかではなく、どのように「生きる」か。少し視点を変えることで大きく思考が広がりました。ありがとうございました。
- ・宗教家の方も来られていて、縁起はいっしょに生きているということ。いろいろな職種の方が関わり考えていく事が必要であると思いました。
- ・もしバナカードは価値観の発掘や今後の提案となりそうで、楽しく学ばせていただきました
- ・「病気で失われる【そのひとらしさ】という言葉
- ・人生会議の取り組みとして、ゲーム感覚で導入しやすいと思った。
これをどう広げていくのか、出た結果をどう進めていくのか難しい
- ・遊びの延長でももしバナカードを使用してもよいと感じた
- ・初めて「もしバナ」と聞いたときは、いったい何？と思っていましたが、わかりやすく説明してもらいわかりました。ありがとうございました。
- ・生と死の考えがひとつだということを改めて感じました
- ・人生の締め方の大切さを理解した。もっと話しやすい場ができればいいなと思いました。
- ・楽しい研修でした。格安で中身の濃い研修を受けられてよかったです。
- ・いろいろな段階で心、気持ちが変わる。「もしバナ」の反応も変わってくる。このことを

念頭に置き、これから地域でどう進めるか検討していきたい

- ・もしバナカードをきっかけにしてその人を理解する、話をする「きっかけ」としてとてもよいツールだと感じた
- ・実際に病床にいる患者さんにはカードはできそうにないので、外来通院のうちから周知できるようにまずはスタッフから取り組みたいと思う
- ・選ぶことの難しさを感じた
- ・医療従事者には受け入れやすいかもしれないが、一般人にはこのもしバナカードの受け入れはすんなりとはいかないような気がします。一般の方々へもうまく進めていけたらいいなと思います。
- ・役割としてACPを普及啓発する立場にありますが、決して焦らず丁寧に大切にすすめていくものであると再認識しました。とても楽しい研修でした。
- ・多職種の価値観を聴けるととてもいい機会でした。

◎第2回(11/2)の事例検討会で聞きたいこと等、ご希望をお書き下さい。

- ・ぜひ参加したいと思います
- ・また、学びたいです。よろしく願いいたします。
- ・楽しみにしています
- ・事例で考える…楽しみです
- ・話術、現場でのタブーや有効な技法を少し教えていただきたいです
- ・もしバナカードの導入～実践(一般向け)
- ・自院1名で参加しましたが、次回は複数名で参加できるように仲間を増やしていこうと思います(医師を連れてきたいです)

◎その他ご意見ご感想をご自由にご記入下さい。

- ・短い時間でしたが、とても学びやすかったです。自分の職場環境に取り入れていくためには、まだまだ自分が勉強しなければなりません、少しずつ積み重ねて、まずは自分がスキルアップしたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・妙光寺での縁起でもない話をしに伺いました。知人と再会したしたきっかけでの参加でした。
- ・誤嚥のおかげで大切な話をするきっかけをもらいました
- ・人生会議について、本人様の希望を聴き、どう生き抜くかを聞き取り「望む暮らしについて」活用していきたい
- ・参加してとてもよかったです。ありがとうございました。
- ・とてもよい勉強ができました
- ・どのように死にたいかではなく、どのように生きたいか。そのように考えたり、利用者と話をしたりしながらやっていきたいと思います。
- ・会を開催してくださったすべての方々に感謝です。
- ・自分の家族ともしバナカードゲームを一緒にしてみたいです
- ・現場でも使い方を考えたいです

- ・カードの文言が日本人にはそぐわないものが数枚あったように感じました。カードの内容の検討と新たなものを作ってもいいのかな、とも思いました。
- ・チャプレンになりたいと思いました。
- ・人生最期を医療職は「粘りたがる」と話されたときに、はっとしました。粘るのではなく、充実させたいな、納得のいくようサポートしたいなと思いました。
- ・この研修に参加したのをきっかけに家族と話してみようと思います
- ・もしもの時、自分だったら…、親や子、パートナーだったらどうするか、本人の思いどおりにもしもの時を過ごせるか考えてほしい、考えさせられた



【第2回研修会】

「人生会議普及啓発 in 鹿児島～みんなでやろう！人生会議～」

第2回 事例で考える人生会議～もしものとき、自分だったらどうする？～

日時：令和1年11月2日（土） 13：30～16：30

場所：鹿児島県自治会館 402号

参加者：50名

専門職 46名（介護支援専門員、病院看護師、訪問看護師、介護福祉士、教員、理学療法士、社会福祉士、MSW、保健師）

一般 4名（美容師等）

講演

「事例で考える人生会議」 講演・グループワーク

がん看護専門看護師・YMCA 訪問看護ステーション・ピース管理者濱本 千春氏

「もしも…を一緒に考える」というテーマで価値観、意思決定支援、そのためのコミュニケーション等について説明後に2事例をどう支えるか？GWを実施した。

GWは、状況等についての質問もあり、活発に意見交換されていた。今回も1回目と同様に、一般の方、多職種でのGWとなり、様々な意見が出ていた。実際の事例で考えていく事で、より具体的に深め、考えを広げられたようであった。いかに価値観を理解するか、答えはその方が持っており、どんなひとも考えることができるということを改めて感じたという感想が多かった。事例を通し、ACP

の実現について、実際の現場や地域でどのようにしていくか、考えられた有意義な研修となった。

アンケート結果 (回収率 90%)

◎「事例で考える人生会議」の講演・GWはいかがでしたか。【大変よい 95% よい 5%】

理由：

- ・事例で考えることが看護職からだけでなく、一般の方からの意見が聞けてとてもよかった
- ・困難な事例、その人をどう支えていくか？ 他の参加者とのグループワークでいろいろな意見が聞けたり、たまに脱線したりととても勉強になり、楽しいワークでした。自己決定がとても大切であること、また、自己決定をするために私たちがどう接していけばよいか、これからも考えながら支えていきたいと思います。
- ・とてもわかりやすく、テンポのよいお話でもっとお話を聞きたくなるような講演でした。
- ・事例を通して意思決定支援を考える機会となり、とても勉強になりました。
「聴いてみないとわからない」から「掘り下げて聞いていく」ことをもっとしていく必要があるなど改めて思いました。
- ・声が聴きやすかったです
- ・妄想をたくさんしていきたいと思いました。
- ・事例がこれから考えていく機会が多くなるような内容で、多職種からの意見が聞けて良かった
- ・相手の価値観をいかに理解するか、また理解し、その価値観を大切にしながらその方の生きることをあくまでも支える。意思決定は、そのかたにある。また、皆それができる、そうありたいと思っていることに改めて気づかされました。
- ・多職種連携ということで日々考えることが多く、とても悩んだりします。
今日の講演を機にもっともっと「その人」を知る行動をしようと思います。
- ・最後の事例では、仕事に行きたいという思いに寄り添えるように病院の中でリハビリ等をしていくくらいしかできないですよねと、本人はできないと決めつけてしまっていました。何ができるかやってみないとわからない、行動しても良いんだと勇気をもらいました。ありがとうございました。
- ・事例を通してACPの実現について改めて考えさせられました。
- ・事例を考える中で、職種・経験で全く違うなど改めて思いました。
- ・自分が経験したことの無いへビーな事例で、いろいろ考えさせられました
- ・GWだけでなく、全体や先生の意見が聞けて学びました
- ・日ごろ臨床で抱えている問題への向き合い方を改めて振り返り、実践につなげたい強く思いました。
- ・自分自身の人生会議も「伝える」を意識したい
- ・とてもよい切り口でとてもよい時間を過ごせました。

- ・ 事例からのGWだったのでとても分かりやすかった。現実感があってよかったです
- ・ いろいろな考えを聞き、考えが広がりました
- ・ ワークが充実していた
- ・ いろいろ想像しながら考えたが、事例はそれをはるかに超えた展開を見せたため、興味をもって聞いていく事の重要性をあらためて感じた。
- ・ 思いがけない展開で、ただただ驚きました。
- ・ 事例を追体験できた
- ・ 心が動いた研修会でした
- ・ コミュニケーション、意思決定など振り返りとなった
- ・ 事例も最後までどうなったかの話をしてくださり、大変勉強になりました。
- ・ たくさんたくさん考えられました

◎本日の講演会で印象に残ったこと、ご感想をお書き下さい。

- ・ 大事な人をなくす時のたいせいがその後の家族に影響するという言葉が印象的でした
- ・ 家族を支えるとてもすごい人に出会えました。
- ・ 先生の話しがとてもとても私の中に響きました。
- ・ 本人によい意思決定をしてもらえるためには、時間をかけて目には見えない部分をみようとすること、しっかりコミュニケーションをとることが大切だと思いました。
- ・ 「答えは本人が持っている」「本人が納得できるように一つずつ下位目標を提示して考えてもらう」ことの実践がとても大切なことだとよくわかりました。
- ・ よれよれしている人でもしっかり考えていること
- ・ 相手を知ることによって価値観を知ることができる
- ・ 「価値観」が本当に印象に残りました
- ・ 人に寄り添う、ということの具体的な関わりのあり様を考えさせられました。
- ・ 「どんなひとでも自己決定できる」「自分の中に答えはある」目から鱗状態でした
- ・ その人の想いを「無理だ」としない考え方と、自己選択へのスタッフとしての突き詰め方等、学びが多かったです。
- ・ あくまでも本人が決定できるように、というのが印象に残りました。
決定するのも本人以上に周りだったりするのかなと思いました
- ・ ACP、いろいろな背景があり、奥深いと思いました
- ・ 意思決定支援を行う際は、メリットデメリットをしっかりと伝え、最善を選択できるように支援していく事が大事
- ・ 「語り」を促す、「話せる環境」に自分もなりたい
- ・ 事例が「生きた事例」で素晴らしかったです
- ・ 価値観を掘り下げていく
- ・ 一つの行動・発言・なぜ？相手を思いながら掘り下げていく事の大切さを感じました
- ・ 実際の事例、印象深かった
- ・ 選択肢をできるだけたくさん考えること

- ・医療者の想いウ込みで進めない
- ・「大丈夫？」という言葉
- ・自分の想いを伝えること、の大切さ
- ・人の人生はいろいろだとつくづく思った
- ・事例がとてもドラマチックだった
- ・その人を知る、その人の価値観を知ったうえでの意思けって支援
- ・人となりをどう伝えるか
- ・GWでいろいろな意見が聞け、また、多職種の交流の場ともなった
- ・職種でできること、聞けることが違うこと
- ・考えられなさそうな人でも考えることができる
- ・外来での患者さんを入院時のスタッフがどうつないでいけるか考えなければいけないと思いました
- ・人生会議の取り組み方がよくわかりました。

◎今後、聞きたい研修内容・テーマ・講師等ございましたらお書きください。

- ・第3回の人生会議の研修も開催してください、ぜひ参加します
- ・スピリチュアルペイン
- ・また、同じ講師の先生でぜひお話聞きたいです。今回の内容を活かしたいので
- ・ケアマネなので、ケアプランにどう反映できるかと考えるので、連携の部分で教えていただければと思います。
- ・今回のように事例に基づくGWで学びたいです
- ・ACPの最新のテーマについて
- ・また、もしバナカードの研修を受けたいです。進め方など
- ・地域での研修会とコラボして企画することができたらうれしいです
- ・退院後の訪問事例など

◎その他ご意見ご感想をご自由にご記入下さい。

- ・明日からも頑張っかんがえながら訪問看護頑張ります
- ・それぞれのグループで素晴らしい意見が出ていました。私のグループ、最高でした。
- ・参加できて本当によかったです。ありがとうございました。
- ・楽しい時間で、あっという間でした。
- ・もしバナカード検索してみます。1回目も参加したかったです
- ・今、訪問看護から少し離れていますが、また、頑張りたい、面白そうと思いました。
- ・「価値観」大切にします
- ・「ケア」「人を支える」ということをゆっくり考える時間を頂きました
- ・また次回もぜひ参加したいです、呼んでください
- ・事例があるととても頭に入りやすいです
- ・市民向けへのACPを話して下さる講師を知りたい
- ・市民への啓発事例などあればききたいと思っています

- ・GWも事例内容もとても楽しかったです。また、参加したいです
- ・皆様の活躍を少しでも分けていただけたらと思います。
- ・とても楽しかったです
- ・重い事例でしたが、これほどでなくても、普段の仕事の中で自分が何をできるか考えることができました



IV. 今後の課題

今回は1回目で人生会議についての講話、もしバナゲームの体験で正しい知識を学び、2回目で事例を通し、もしもの時、価値観を大事にして専門職として意思決定を支えることを考えていく研修を実施した。どちらも一般の方を含めた多職種での研修となり、様々な考え方に触れることができ、交流の機会にもなったと思われる。人生会議を進めていくためには、人生の最終段階を自分のこととして考える時期にある人（医療・ケアの現場）と、そうではない差し迫った状態ではない時期（国民全体・地域住民）に分けて考え、今後、対象に合わせた啓発活動を行っていききたい。また、事例を通して検討していく事により考えをさらに深めやすく、実践に活かすことができると考え、同じ講師で事例検討会を継続し、質の高い医療や介護を地域で提供できるための人材を増やしていきたいと考える。

V. 活動の成果等の公表予定

現在予定なし

VI. 謝辞

この度の活動にあたり、助成を頂いた公益財団法人笹川保健財団に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。